

雲仙ゴルフコース

1913 年、倉場富三郎（1870 年 - 1945 年）は長崎県と共同で、日本初の公営ゴルフコースで、日本で 2 番目に古い雲仙ゴルフスプリングを創設した。

長崎県間の公営・私営パートナーシップによって彼らは土地を取得し、コースの最初のクラブハウスが建てられた。雲仙の中でもユニークな存在であり、100 年以上の歴史を持っている。

雲仙は 20 世紀初めに、上海や中国の他の地域に住む西洋人の避暑地であった。コースは西洋の娯楽アクティビティを求めて雲仙に涼みに来たこれらの旅行客のために作られたものである。

近代的なクラブハウスは 1995 年に建てられ、2 階には小さな博物館がある。そこではコースの歴史についての展示があり、歴史的な写真、アンティークのゴルフクラブ、トロフィーなどが見られる。今は私営で営業しているコースはまだ一般に開かれており、日本および世界中の訪問者を迎えている。